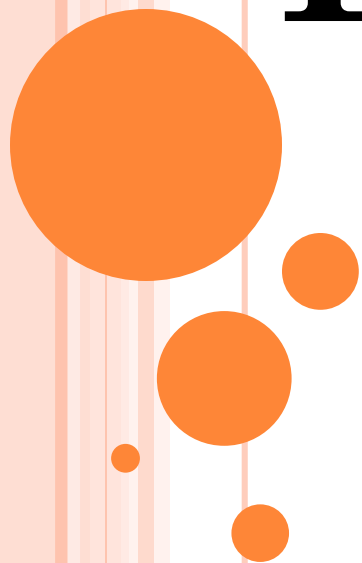


PNSについて



PNS: パートナーシップ・ナーシング・システム

看護師が安全で質の高い看護を提供することを目的とし、**2人の看護師が良きパートナー**として、**対等な立場**で、**お互いの特性**を活かし、相互に**補完**し協力し合う看護提供方式である。

2人の看護師は、毎日の看護ケアを始め、委員会活動、病棟内の係りの仕事に至るまで、1年間を通じてパートナーとして、その**成果と責任を共有する**。

当院の看護方式もPNSを！



PNSの意義

協働システムであるパートナーシップの魅力は、共通の領域の中で目的に向かって

パートナー
同士の**違い**
を活かす

補完

信頼感と緊張感の
ある関係



対等・平等
であること

情報開示

シナジー効果(相乗
効果)を発揮する
 $1+1=2$ にも
 4 にもなる

1年間協働する年間パートナーの決め方

パートナーを選ぶ時の

キーワードは「**違いを活かす**」

相手に自分にはない長所や持ち味、得意分野が違う人を選んでね。

趣味が違う

自分とは違う匂いがする

いつも何を
考えてるの？

経験年数は
気にしない



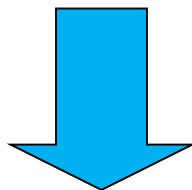
年間パートナーは公の場で決めます！

年間パートナーは、病棟会議等で勤務者以外のスタッフが揃ったところで、自薦・他薦を交えてスタッフが**自分たちの責任で、自分たちの力だけで**パートナーを決定する。

(時間がかかっても自分たちで決める)

パートナーは自分が選び、パートナーを**選んだ理由**を発表する。

* スタッフは選んだパートナーが仲良しだったり、似ている人の場合は反対をする(同意しない)こと。



スタッフの同意を得て、パートナーが決定する。



看護長補佐をコアとしたグループづくり

パートナーが
できたら、
次はパートナー
の力量と、
委員会活動など
を考慮して、
看護長補佐を
コアとした
グループを
形成する。

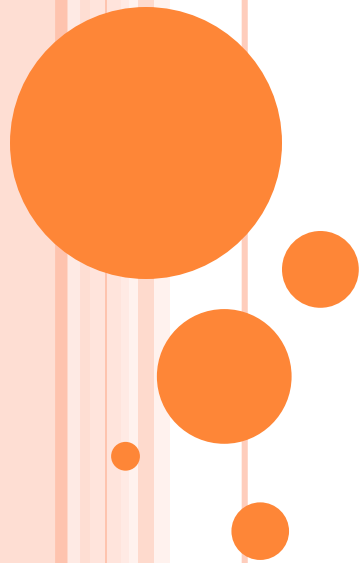
A補佐グループ
教育担当
5組のパートナー



B補佐グループ
業務担当
5組のパートナー



パートナーとしての 役割



パートナーの活動範囲



- ★ 受け持ち患者の看護（入院から退院まで）
- ★ 日々の看護業務・ケア
看護師2人で約10人の患者を受け持ち、
業務・看護ケアを行う。
- ★ 委員会活動（感染防止・医療安全など）
- ★ 病棟内の係りの仕事
（病棟会議の当番や備品点検など）
- ★ グループメンバーの委員会や係りの仕事・
業務の補完



グループの活動範囲

A補佐グループ
教育担当
5組のパートナー



感染防止



学習会



看護必要度



リスクマネジメント



業務改善

グループの
みんなで、頑張り
ましょう。

補完の
4重構造を
使って
頑張ります



補完性の原理

補完とは……

看護業務の不十分な部分を補い、業務を滞りなく行うことである。

補完は、パートナーシップ・マインドの

与える心「GIVE & GIVE」と慮る

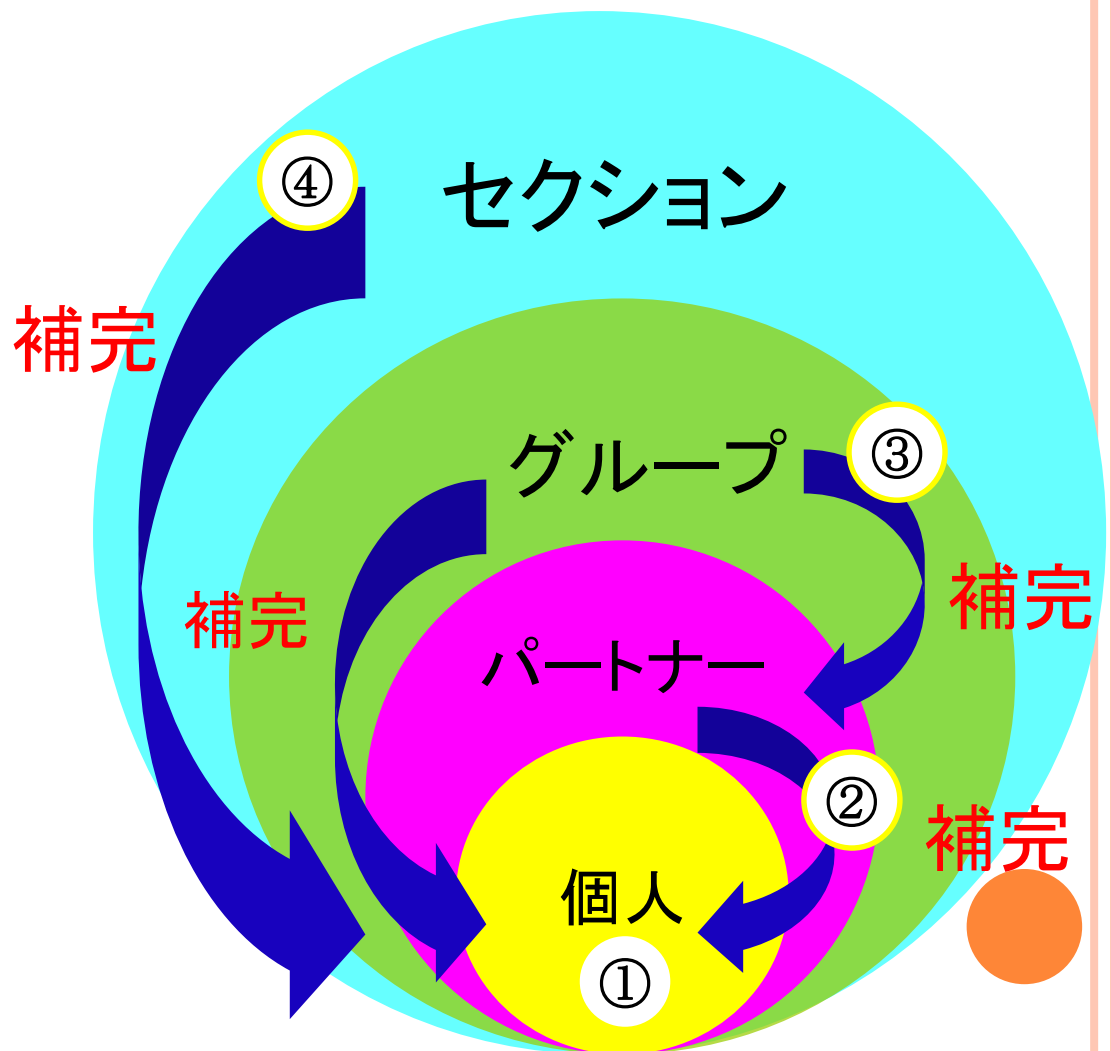
補完のあとは「すみません」ではなく

「ありがとう」



PNSの構成と補完の四重構造

- ①個人でできる時は、個人で解決する。
- ②個人でできない時は、まず**パートナー**が**補完**する。
- ③パートナーができない時は、**共属するグループ**が補完する。
- ④共属するグループが補完できない時は、**セクション全体**で補完する。



PNSの考え方

日々の看護業務・係の仕事・グループでの活動などで
問題が起きたとき

『できない』『無理』と考えるのではなく、



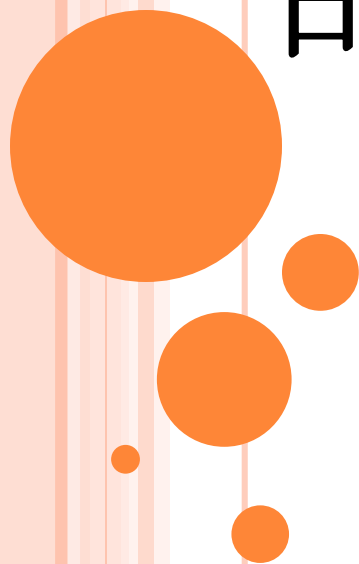
【**どうすれば できる!**】と

前向きな思考が問題解決につながる

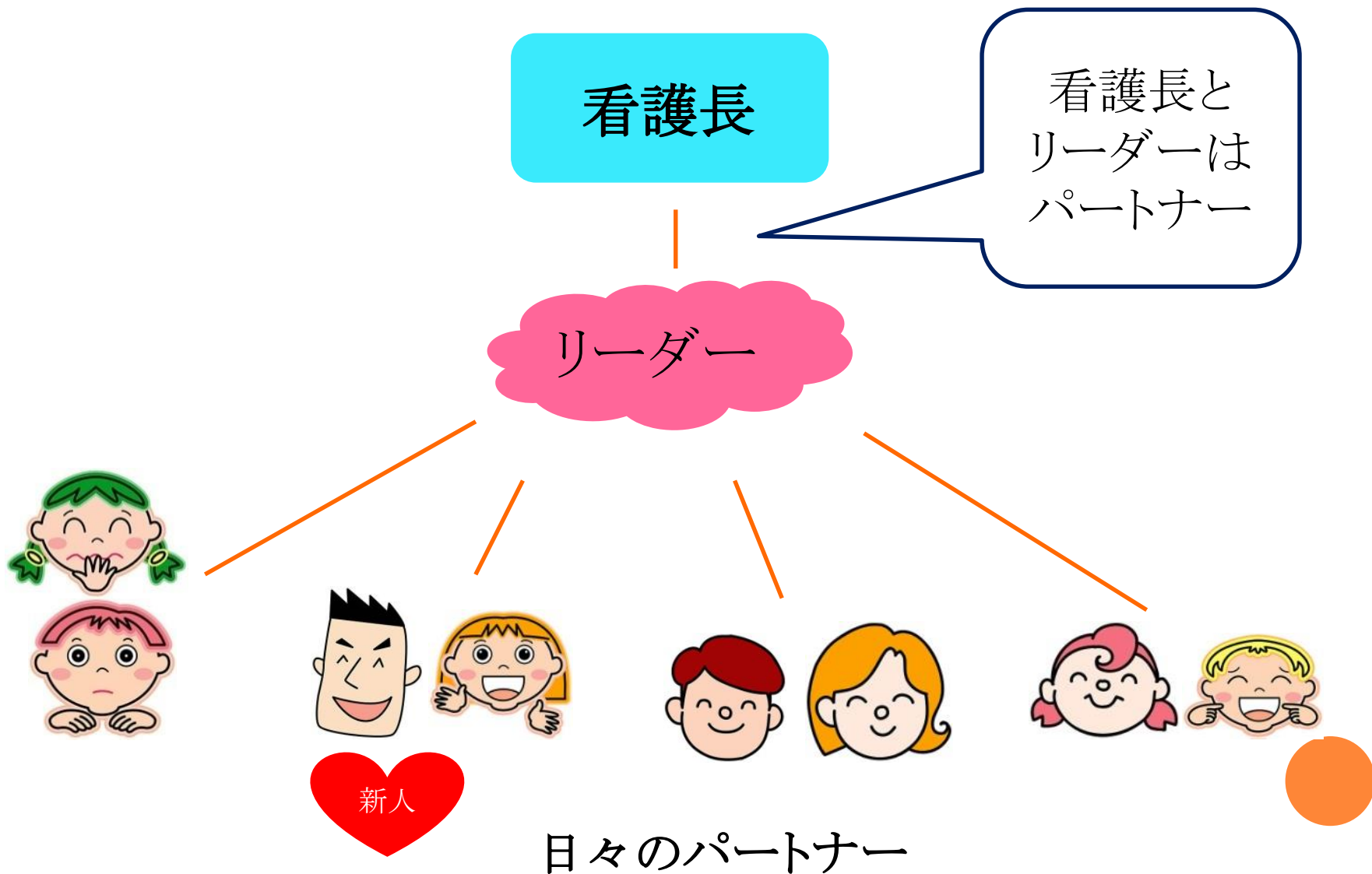
ポジティブシンキングが重要！！



日常業務の方法について



日勤業務のメンバー構成



PNSでの日勤業務をみてみよう

(3交替勤務の例)

1つのパートナーは、**基本10人の患者**を受け持つ

8:15 情報収集

Aさん、Bさんがそれぞれ自分の受け持ち患者5人ずつ情報収集をする。その後、点滴やワゴンの準備。

8:30 全体での申し送り

8:40 深夜勤務者からの申し送りを受ける。



情報収集・申し送りが終わった時点で2人で当日の業務の打ち合わせをする。
ケア実施者と記録係りを決める。



情報交換終了後

はい！



今日、一緒に
頑張ろうね！



1) パートナーとベッドサイドへ行き、検温及び環境整備、ケアを実施する。

(1) ケア実施者がバイタルを測定し、患者とコミュニケーションを取りながら全身状態の観察を行う。
記録係りがその場でPCに内容を記録(入力)する。
(フローシート・看護診断など)

(2) 清潔ケアは受け持ち看護師が計画した事を行う。



分からないことや疑問がある時はパートナーと相談しながら一緒に行く。

10:30～11:00 リーダーへの報告

業務の進捗状況をリーダーへ報告する。
この時、補完が必要な残務も報告する。

11:30～12:15 一番目の休憩

12:30～13:15 二番目の休憩

休憩はパートナーと交互に取る

14:00 入院患者の対応

検査や手術の送り迎えなど



15:00 リーダーへの報告

業務の進捗状況と残務をリーダーへ報告する。
リーダーは残務の補完を采配し、定時に業務を終えることを目指す。

パートナーと協力して定時に業務が終了できるようにマネジメントし業務を行う。

16:45 準夜への申し送り

17:00 勤務終了



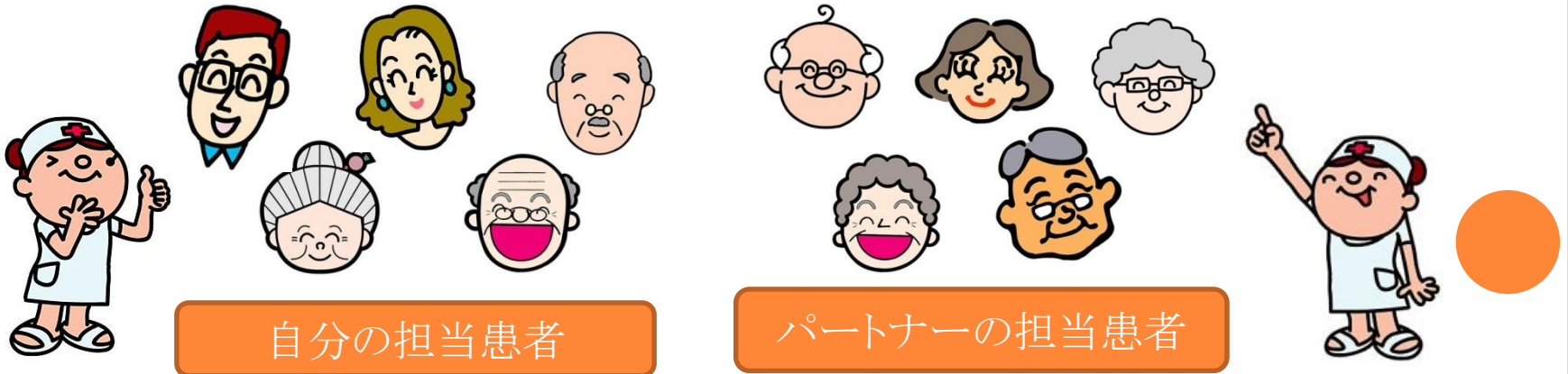
2交替勤務の場合は14:00以降リシャッフルを行い業務調整をする。



PNSで業務中のポイント！

1. 担当患者は、自分が情報収集して受け持つ患者とパートナーが受け持つ患者を合わせた全員である。

パートナーが受け持っている患者も自分の受け持ちだと意識して、患者の状態・治療や注意点など、すべての情報を把握して責任を持って行動する。



PNSで業務中のポイント！

1. ナースコールや処置、検査の送り迎えなどは、パートナーが離れて行動する。

パートナーが別々に行動する時は必ず、相手に行き先を告げる。戻ったら情報交換をして患者の情報を共有する。

常にコミュニケーションをとる。これが重要！

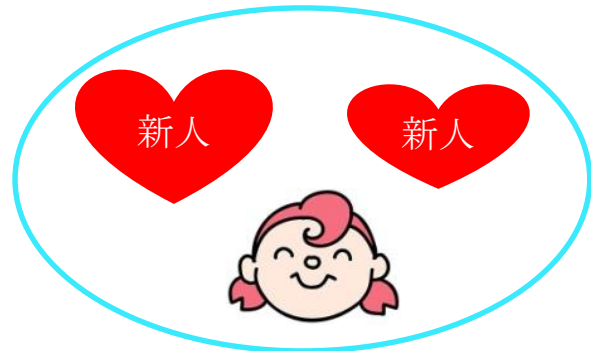
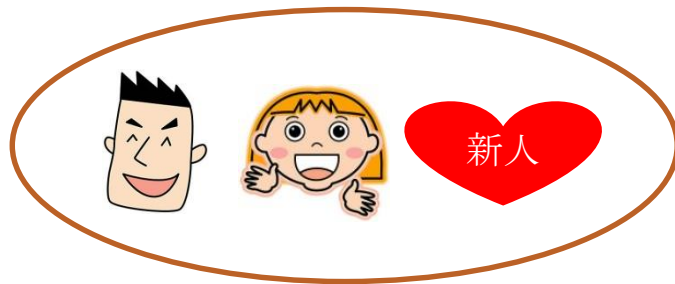
2. 医療事故が起きた時は、パートナー2人ともがインシデントレポートを作成し提出する。●

(責任を共有しているため)

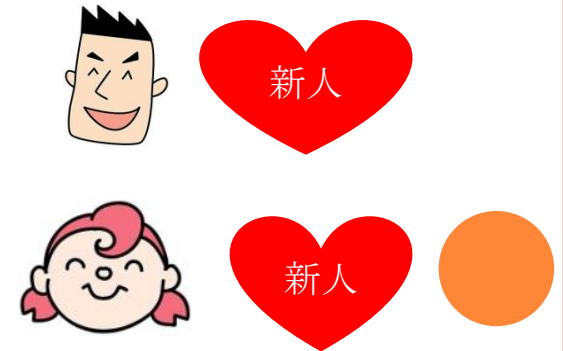
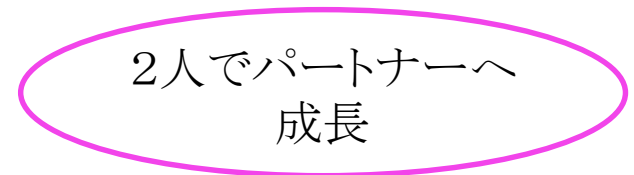
新人教育との連動

PNSの考え方は・・・

一人で任せるようになるのではなく、やれないことを補完して、一緒にやりながら成長するのを待つ
だから、やれないうちは2人+1人でがんばる



数ヵ月後



PNSの効果

- 1) 患者や看護師にとって**安心・安全**な医療を提供できる。患者の要望・サービスが**タイムリー**にできる。
- 2) ベッドサイドへ電子カルテを持ち込み、患者のそばで観察をしながら**リアルタイム**で**記録**ができる。医療チームとして情報を共有できる。
- 3) 勤務時間内にカルテの記載を終わらせる、という協働作業が**時間外勤務**を**削減**させる。



PNSの効果

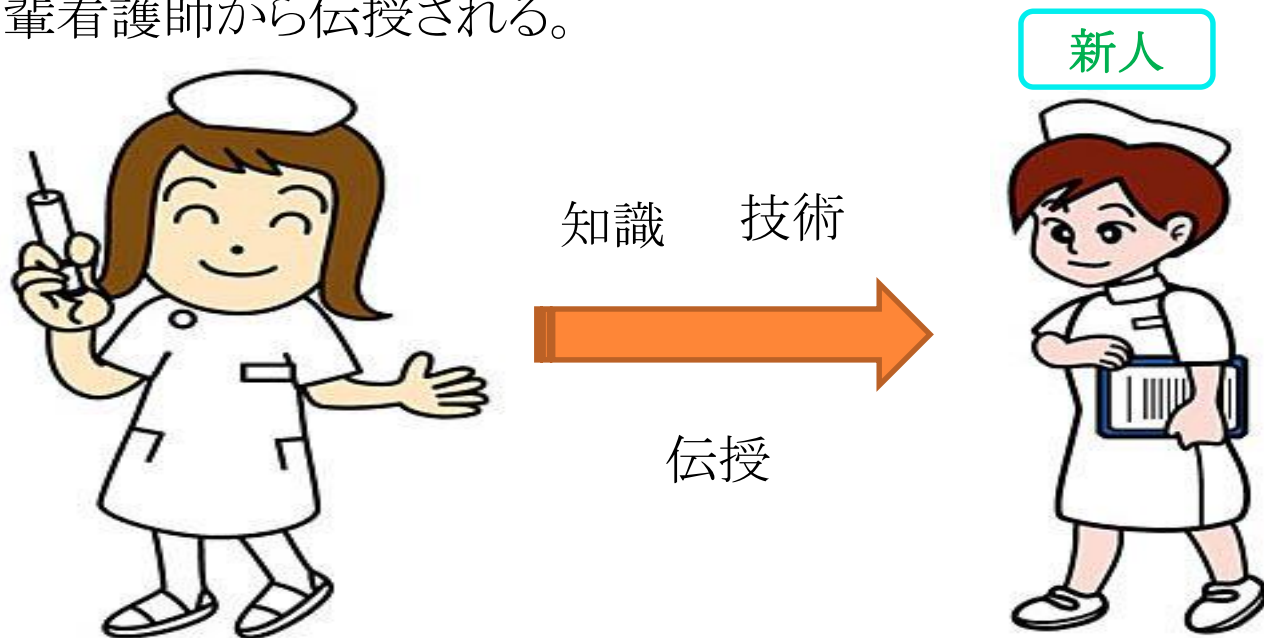
- 4) 看護師間のコミュニケーションが何十倍も増す。
- 5) 看護技術面でのインシデントが減る。
- 6) 情報を共有していることで、1人が急変時に即対応していても、もう1人の看護師がいることで、途切れることなく受持ち患者の対応ができる。また、急変患者の対応に集中できる。
- 7) 昼休憩が確実に取れる。




PNSの効果

8) 看護実践の可視化が看護の伝承・伝授となり、教育効果が生まれ人材育成につながる。

ベテラン・中堅看護師と新人看護師がパートナーを組み看護実践を行うことは、知識・技術やコツ、バランス感覚、コミュニケーション能力を先輩看護師から伝授される。



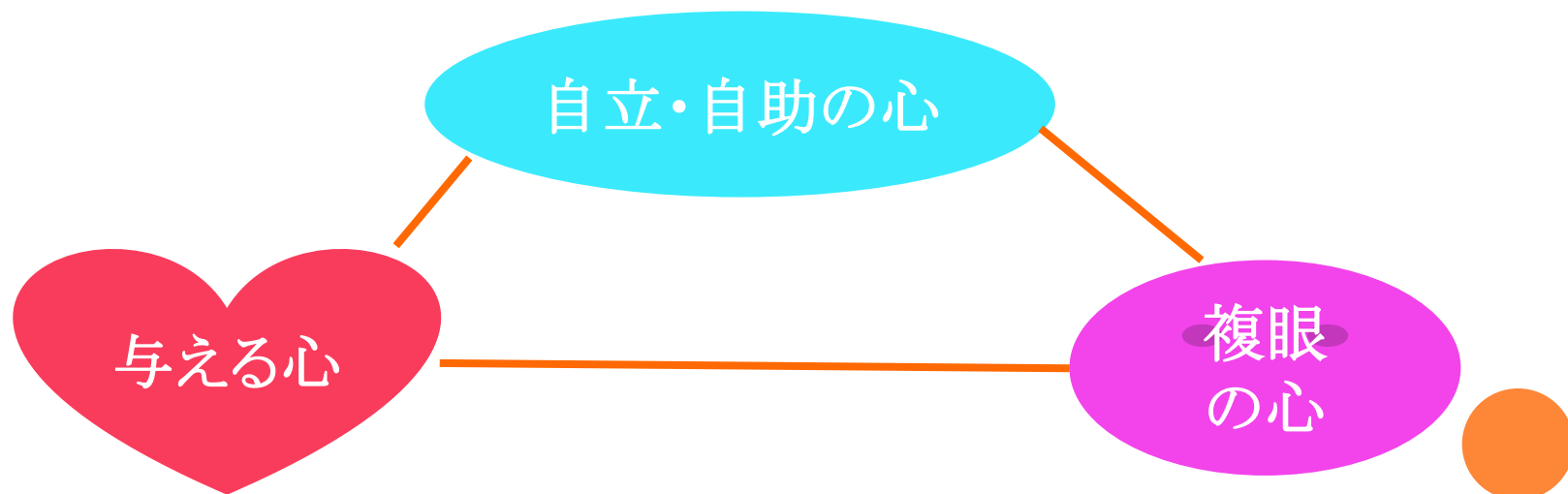


PNSを行うための パートナーシップ・マインド

PNSを行うためには、全ての看護師が
パートナーシップ・マインドを持ち続ける
ことが大切

パートナーシップ・マインドとは・・・

他者に依存するのではなく、
1人のプロフェッショナルとして、
自らの頭で考え、自らを助けるという
心の持ちようである。



パートナーシップに必要な3要素

慮る
(おもんばかり)

相手を思いやり、
周囲の状況をよく
考えること

尊重

価値あるもの、尊い
ものとして大切に扱
うこと、重んじること。



信頼

信じて頼りにすること
・頼りになると信じること

指導場面でパートナーシップ・マインドはどう使われているの？

急に採血が入ったけどやってみる？

一緒に確認しよう
(複眼の心)

物品が準備できました。
(自立・自助の心)

準備は正しく出来たね。
(承認・尊重)
1つ確認した方がいいよ。
この患者さんはアルコール禁だと思うけど
(与える心・複眼の心)



新人

採血の方法は〇〇〇です。
(自立・自助の心)

はい

採血の方法はどうだった？
(複眼の心)

そうだね。じゃあ、やってみよう。がんばって
(信頼・慮る)



PNSの基本は対等・平等

対等・平等とは、**相手を尊重し、慮ること。**

対等・・・互いに差が無いこと。双方が同等であること。

平等・・・すべてにかたよりなく、等しいこと。差別がなく全部同じであること。

対等な関係は、自分にも相手にも足りないこと、不完全なことを補わなければならない(補完)ことに**気づかされる**関係。**補い合う**関係であり、**助け合う**関係。

対等であることは主体性を生み出す。



PNSを経験した先輩新人看護師の感想

多重課題があった時、
手をかしてくれる人が
すぐそばにいるので責
任の重みが少し軽減
される

不安なことが
すぐに聞けた

パートナーと一緒に
とすごく安心する

2人で確認するこ
とで事故が防げら
れると感じる

パートナーと一緒に
に仕事をしている
と楽しい

最初は誰に聞い
たらいいか分か
らない時、パート
ナーとは情報交
換しているから
聞きやすかった

孤独な感じがなくなる。コミュ
ニケーションも深められ、お
互いを知って仲良くなれる
親しみやすい職場になる

一緒に動くから、その先
輩が患者さんにどう接し
ているのか対応を見て
勉強になる

PNSは育休明け・中途採用者・異動者もご心配なく (経験者の感想)

経験者でしょ、と
言われて、一人
で仕事をする不
安がなく良かつ
た

パートナーには些
細な事を聞いても教
えてくれるから聞き
やすく、働きやすい

パートナーと一緒
だと分からない時、
すぐに聞ける相手
がいて安心して仕
事ができた

2人で確認するこ
とで事故が防げる
と感じる

患者さんの問題を
その場で確認できたり、
相談できるからいい
と思った

人間関係に慣れてない
時、パートナーに頼
めるのは有り難かった

パートナーシップ成功のカギは「心の持ちよう」
パートナーシップ・マインドと3要素

パートナーシップ・マインドを持って、一緒PNS
(パートナーシップ・ナーシング・システム)で
患者さんにより良い看護を行っていきましょう。

「ありがとう」がこだまする看護局へ

